

XCIJ首都圏支部会準備会議事録

日時：2008年7月12日（土）

場所：東京大学理学部2号館252号室

参加者：浅島誠、後藤利保、伊藤弓弦、内山英穂、岡敦子、岡本治正、木下勉、澁谷浩司、平良眞規、高橋秀治、田中利明、松本健、道上達男

議事

1. 本支部会の趣旨説明（平良）

要点は以下の通り

- ・Xenopus胚を用いた研究成果を発表し、広くかつ深く学ぶ
- ・PI間、学生間の交流を深める（懇親会の開催なども）
- ・ツメガエル研究者の裾野をひろげ（学生を育て）、さらなる発展をめざす。
- ・気楽に集まることで情報交換等を活性化し、お互いの研究が盛んになることを目指す。
- ・一方、この研究集会の開催が各研究室に負担にならないように配慮する。

2. 自己紹介（全員）

3. 運営方法

- ・本支部会の運営委員会（平良、木下、伊藤）と委員長（平良）を選出。
- ・また、それとは別に、年2回程度行う研究集会（第1回に関しては下記参照）の会場準備等を担当する研究室を、その研究室の人数に応じて1ないしはそれ以上毎回決定することとする。第1回に関しては、平良研究室と、あともう一研究室（まだ未定）で執り行う。
- ・XCIJ本体との関係は、あくまでXCIJの支部としての立場である。遠方からの参加がされにくい、学生だと旅費を出しにくく結果として参加メンバーに制限が加えられる、と言った問題点を解決することを一つの目的とする。

4. 第1回XCIJ首都圏支部会シンポジウムの開催について

日時：10月11日（土）まだ、11：00－17：00（終了時間は未確定）

場所：東京大学理学部2号館第一講義室（201号室）

（注）日時、場所は諸般の事情によりpendingに。後日決定の上で再度連絡をする（7/14現在）。

発表形態：PI等による口頭発表（20分：発表15分質疑5分）4題と、各研究グループから1名による口頭発表（15分：発表12分質疑3分）による。ポストドクか学生による発表を奨励する。座長形式をとる。

プログラム：後日決定（演題〆切を8月31日とする。「演題名」と「発表内容に関するキーワードを3つ」を提出することとする。要旨の提出は特に必要無しとする。）

その他：本支部会後に懇親会を設ける。（場所は後日連絡。おそらくPIクラスの方々から3000円程度の会費を徴収予定。学生は会費無しの方向で。）

5. 第2回以降の運営について

次回の支部会と年間の支部会開催数については第1回支部会終了後に協議して決定する。第1回は本支部会設立に賛同した研究室を中心に試験的に開くこととするが、第2回以降は演題募集をXCIJメーリングリストで全員に送付するなどにより、参加可能な研究室を拡大することを検討する。未だXCIJに参加していないXenopus研究者には、XCIJの加入と本支部会への参加を呼びかける。